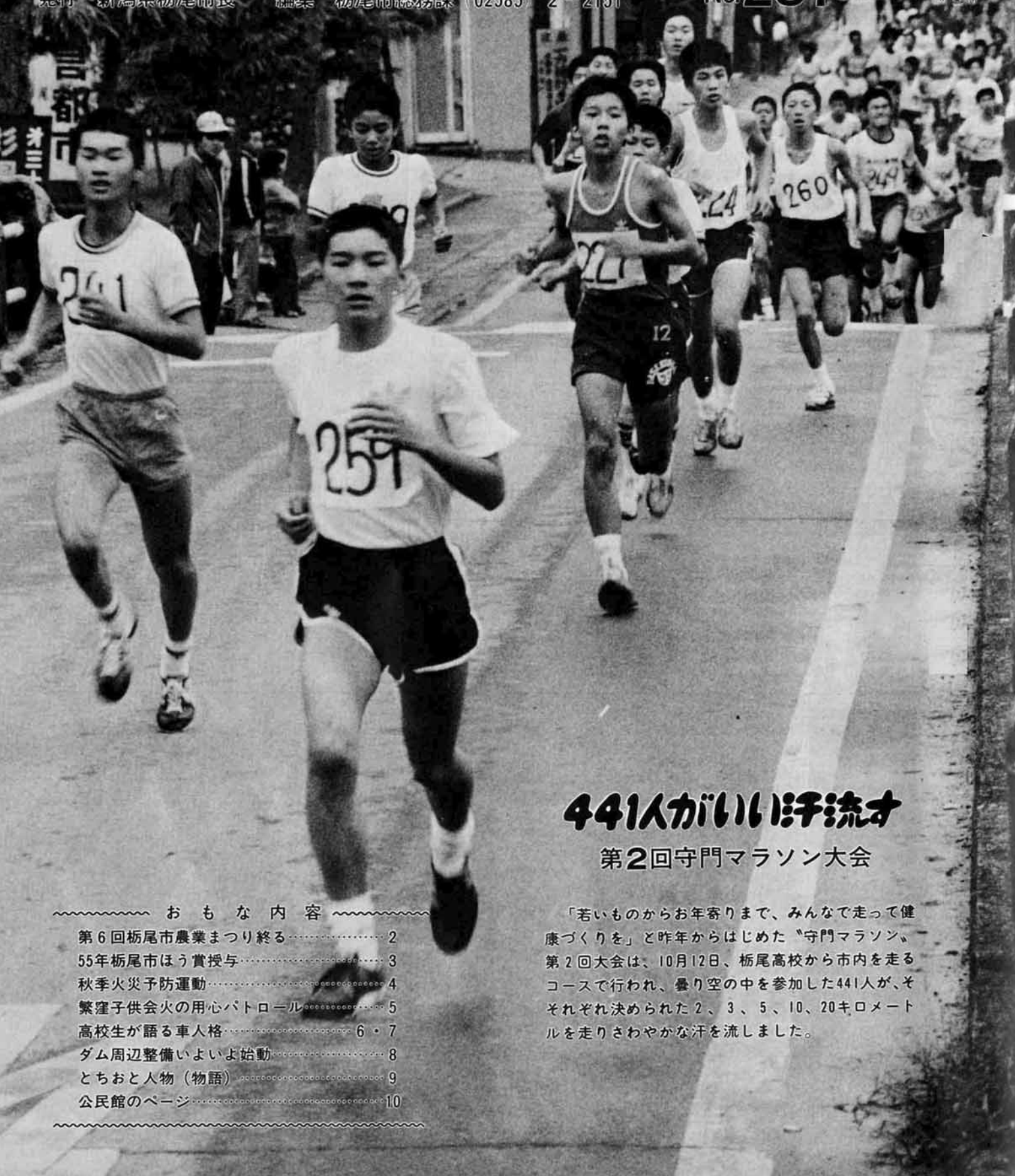


本誌発刊以来、毎月発行し、今年五月十五日発行の五月号より、毎月一回発行し、定価は一部を除き、昭和三十三年二月二十日第一号発行価格と同様です。



441人がいい汗流す 第2回守門マラソン大会

「若いものからお年寄りまで、みんなで走って健康づくりを」と昨年からはじめた「守門マラソン」第2回大会は、10月12日、栃尾高校から市内を走るコースで行われ、曇り空の中を参加した441人が、それぞれ決められた2、3、5、10、20キロメートルを走りさわやかな汗を流しました。

- おもな内容
- 第6回栃尾市農業まつり終る.....2
 - 55年栃尾市ほう賞授与.....3
 - 秋季火災予防運動.....4
 - 繁窪子供会火の用心パトロール.....5
 - 高校生が語る車人格.....6・7
 - ダム周辺整備いよいよ始動.....8
 - とちおと人物(物語).....9
 - 公民館のページ.....10

若い力を子ども会へ…… ピッカピカの指導者22人

子ども会指導者スクール



子ども会の指導者養成をめざして実施している「子ども会指導者スクール」は、十月七日に閉講し、二十二人に修了証が手わたされました。今回誕生した指導者は、レクリエーションなど実技を中心に十回にわたって学習してきたもので、今後、地域での活躍が期待されます。

この子ども会指導者スクールは、地域子ども会での指導者不足を解消し、さらに内容の充実した活動を活発にすすめてもらうため、子ども会についての知識を深め、レクリエーション技術などを修得してもらおうと、市教育委員会が実施したものです。ことは二十六人の参加申し込みがあり、七月から十月まで十回にわたって熱心に学習してきました。内容は、楽しいゲーム指導法やペーパー・クラフト、レクリエーション・ダンス、キャンプの技術、救急法……など主に実技を中心に学習してきました。

十二人のかたに修了証が手わたされました。70人の指導者 三か年で誕生 三か年計画で昭和五十三年から開設したこのスクールも修了者は、一年目二十七人、二年目二十一人、ことし二十二人となり、市内各地に七十人の指導者が誕生しました。この子ども会指導者は、本人の所属する子ども会はもちろんのこと、要請があればみなさん方の地域に出向き、いろいろ子ども会の実技指導のお手伝いをいたします。子ども会活動で、適当な指導者がいないため思うような活動ができないとか、レクリエーションの指導者がほしいというときには、ぜひこの子ども会指導者に活動と研修の機会を与えていただきたいと思えます。

はりきっています
気軽に活用を

ことしの子ども会指導者スクールの修了者、二十二人は次のとおりです。

- なお、指導者からお手伝いをいただきたい場合は、直接本人にお願いするか、または社会教育課(公民館内)二局二〇二〇番)までご連絡ください。
- 指導者スクール修了者名
山本誠二(栃壠) 稲田美穂(表町) 五十嵐勝栄(金沢) 井上真一(旭町) 桜井仁志(西野俣) 相田みさと(大野町) 大橋ちあ(栄町) 稲田優子(楡原) 星野正子(谷内) 保科進(東が丘) 多田栄子(旭町) 藤崎和子(吉水) 嶋田恵子(金沢) 矢沢啓一(水沢) 佐藤厚子(北荷頃) 諸橋光子(上来伝) 矢沢豊美(鴉ヶ島) 坂上弘子(東が丘) 佐藤勝司(北荷頃) 大崎和子(原町) 池田叶子(東が丘) 武士俣直子(栃壠)



なやかな、ゲーム指導

指導者スクールに参加して



友人に、子ども会指導者スクールに参加しないか……という誘いをうけ、どんなものかな？という気持で参加しました。参加してみると、学習時間が午後七時半からにもかかわらず、毎回多数の出席者があり驚きました。レクリエーション・ダンスやゲーム、救急法、活動プログラム作成方法など、どれも私にとって興味深いものばかりでした。なかでも体を動かすものは、童心にかえり汗をかきながらの学習で楽しく、時間がもう少しあれば——と思うほどでした。子ども会活動は、子どもたちにとって学校や家庭とは違った意味で大切な場を作ってくれるものではないか、と感じさせられたものもあり、改めて子ども会の重要性を認識しました。



東が丘から参加した三人がろうじて修了証をいただくことができ、子どものように喜びました。東が丘子ども会会員は、120人、育成会役員は各学年選出の九人です。しかも地域PTAも兼っているので苦労も多く、そのため毎年役員は総入れ替えでやってきました。私自身その昔、保母(夫)になりたくて保育所長に相談したほどで、酒のつきあいよりは子どもたちとのつきあいの方が楽しいのですが、何しろ役員は一年生。区民ぐるみの協力でキャンプや運動会、納涼祭などの事業をやってきました。実際、スクールに参加して各分野の専門家から、子ども会のイロハからゲームまで講義と実技は大いに、反省させられたり腹が痛くなるほど笑ったりで、有意義でした。



第6回農業まつり

優秀農家に 小林与人さん 諸橋 誠さん

大盛況だった即売会・賞味会

1年の収穫を喜び、来年の糧にする農業者の祭典「第6回栃尾市農業まつり」を、10月25日、市民会館と栃尾市農協(本所)で行いました。今年は、冷夏のため農作物の成りは良くない結果に終わりましたが、これにもめげず農産物、林産物、畜産などを出品。それぞれの賞を獲得しました。今年の優秀農家には、小林与人さん、諸橋誠さんが選ばれました。また、呼び物の即売会、賞味会はいつものように大盛況。冷夏で過ごした農業者の顔をばらばらさせてくれた1日でした。

共進会、品評会入賞者

- (各部門とも優秀賞以上
カッコ内の数字は出品点数)
- 優秀農家
 - 栃尾市農業賞 小林与人(鴨ヶ島) 同 諸橋誠(北町)
 - コシヒカリ多収種共進会(一五)
 - 最優秀賞 小林久作(巻洲)
 - 優秀賞 諏佐秀作(山屋) 同 齊藤正信(本津川)
 - 最優秀賞 川田市四郎(平中野)
 - 優秀賞 藤田貢(熊袋)
 - れんこん品評会(一三三)
 - 最優秀賞 波光江(繁窪)
 - 優秀賞 小林正和(鴨ヶ島)
 - ブドウ品評会(一三三)
 - 最優秀賞 佐藤金作(巻洲)
 - 優秀賞 多田正信(平)
 - 品評会(一三三)
 - 最優秀賞 鈴木孝俊(半蔵金)
 - 優秀賞 金内和助(西中野)
 - 同 諏佐金助(新山)、同 諏佐忠夫(同)
 - 蕎麥多収種共進会(一六)
 - 最優秀賞 今井政吉(下檜出)
 - 優秀賞 飯浜与四郎(二ツ郷屋)
 - 肉豚共進会(一三〇)
 - 最優秀賞 齊藤一郎(本津川)
 - 優秀賞 小林晃(巻洲) 同 小林勝雄(同)
 - 肥育牛共進会
 - 最優秀賞 山口栄(土ヶ谷)
 - 優秀賞 西川勉(首畑) 同 小林熊衛(比礼)
 - 種豚共進会
 - 最優秀賞 高橋定生(明戸)
 - 優秀賞 和田登(森上)
 - 乳牛共進会
 - 最優秀賞 佐藤忠一郎(滝之口)
 - 錦鯉品評会
 - 総合優勝(紅白六部) 外山養鯉場(一之貝) 次席総合優勝(成魚の部・大正三色部) 外山養鯉場(同) 同 (幼魚の部・紅白三部) 広瀬征也(表町)
 - しいたけ品評会(一五)
 - 最優秀賞 今井栄一郎(宮沢)
 - 優秀賞 山内喜一(田代)
 - なめこ品評会(一六)
 - 最優秀賞 佐藤正善(柄堀)
 - 優秀賞 矢沢国一(鴨ヶ島)
 - 木炭品評会(一五)
 - 最優秀賞 酒井久(本所)
 - 優秀賞 間吉三(柄堀)
 - 農業振興作文
 - (小学校) 最優秀賞 渡辺靖代(比礼小五年) 優秀賞 惣角武彦(塩川小五年) 同 奥山資子(栃尾東小四年) 同 外山有紀(同)
 - (中学校) 最優秀賞 多田良典(栃尾中二年) 優秀賞 箕輪繁則(同二年) 同 稲田恵子(同三年)
 - (高等学校) 最優秀賞 山口浩聡(栃尾高三年) 優秀賞 稲葉京子(同一年)

米と野菜

小林与人さん

小林さんが米作りプラス野菜に本腰を入れたのは、水田の減反が打ち出された昭和四十六年でした。それまで耕作していた一三〇アの水田のうち一〇アをレンコン、二〇アを畑作に転換し、従来の四〇アの畑を合わせて六〇アにしました。作物は、春にはいちご



小林さん

米と肉用牛

諸橋 誠さん

諸橋さんは、米作りと肉用牛の飼育を取り入れた専業農家。昭和四十年に牛を飼いはじめたのははじまり。昭和四十九年に自宅から二、離れた畑地に畜舎を建設、五〇頭を飼育して年間三〇頭から三五頭を出荷。このほか、一〇〇アの水田を耕作するかわら



諸橋さん

から秋のさといもまで野菜という野菜はすべて栽培、効率的に回転させました。専業農家として、小林さん夫婦、後とりの二男、祖母が米づくりと野菜づくりに当りました。野菜づくりは、得意なもの売さばきが苦手な小林さん。売手はもっぱら奥さんがあたり、八百屋で売られるものと鮮度で勝負。市内へ車で出かけ売りさばき、得意先を確保しました。今では、レンコンと野菜栽培小売で一〇〇アの水田収益より高い収益を上げ、転作に成功している小林さん。現在六人家族の大黒柱です。

〇アも負負耕作をしています。五〇頭の飼育には、決った時間に餌を与えるのが苦労の一つ。これにましてもつかしのが素牛の導入だという。諸橋さん夫婦と、父が毎日牛の管理にあたる。夏の餌は、畜舎周囲の畑に植えた牧草と購買飼料でまかない、冬期はほとんどわらと購買飼料にたよっています。採算ベースに乗せる見込みをつけた諸橋さんは、現在、三〇頭を飼育する畜舎を増築中。肉用牛は、市場相場に不安があるものの前向きに生産すると意欲を燃している好青年。父親を中心に六人家族。

昭和五十五年栃尾市ほう賞受賞者が決まり十一月三日の文化の日に市民会館で授与式を行いました。今年の受賞者は、市の文化、産業、教育、社会福祉、衛生、土木その他自治興隆及び公益の伸展に尽された方六人、市の職員として

永年精勵した方一人、市の行政に積極的協力、援助された方三人、市のため多大な私財を寄付した方二人でした。これら七人の方に表彰状、五人の方に感謝状とそれぞれ記念品を贈りました。

昭和55年 栃尾市ほう賞 ボランティア活動に携わる 今井ヨキさんら十二人に授与



前列左から諏佐久雄、河野浩一、酒井憲二、平井二介、倉茂寅吉、菊池政次 後列左から稲葉 勇、中沢庄兵衛、伊藤徳治(代人)、本田登栄、坂内一男、今井ヨキの各氏

ことしのほう賞者を決めるため、市長は、行政機関、区長、団体などから推薦のあったものをほう賞審査会(平林与一郎会長・委員八人)に諮問し審査会の答申を得て決定したものです。受賞者の功績は次のとおりです。

今井 ヨキ(五九) 大野町 精神薄弱者を気のどくに思い、ボランティア精神をもって昭和四十年四月特殊学級設置校の旧栃尾小学校に毎月寄付金をされて以来、現在では栃尾南小学校、栃尾東小学校、栃尾中学校の各特殊学級と守門の里に毎月寄付を続けておられる。また、昭和五十三年四月から県精神薄弱者相談員に委嘱され活動に当るなど社会福祉の伸展に尽力(表彰状) 倉茂 寅吉(六八) 泉 昭和九年、倉茂織物工場を創業以来織物業に専念されるかわら、昭和二十九年から

栃尾織物工業協同組合役員及び昭和四十三年から栃尾商工会理事を今日まで歴任、栃尾繊維産業の振興と商工業の発展に貢献。また、白鷹町と姉妹都市締結に仲介をはじめ友好親善に尽された。(表彰状) 酒井 憲二(七五) 谷内一 昭和二十九年九月栃尾商工会理事に就任以来二十六年一か月在職、この間、副会長八年会長四年四か月を歴任、本市の商工業の振興発展に貢献五十五年九月三十日退任された。(表彰状) 藤佐 久雄(六八) 新山 昭和三十四年から公民館運営審議会委員通算十五年、社会教育委員六年を歴任、社会教育の振興に尽力。また、市議会議員一期四年をつとめ、地域の発展に貢献。(表彰状) 菊池 政次(七三) 新潟市 昭和四十三年十月一日、栃尾市教育委員に就任、同年十二月一日教育長に任命されて以来三期十二年間本市の教育振興ならびに学校統合に貢献された。五十五年九月三十日任期満了により退職。(表彰状) 平井 二介(六一) 旭町 昭和十五年から諏訪神社春季大祭御神輿渡御大名行列の奴振り役を四十年間勤め、文化財の伝統維持に貢献。現在は奴頭(世話役)となつて後継者の養成と技術の伝承に

尽力されている。(表彰状) 坂内 一男(五六) 粟山沢 昭和二十二年一月一日、入東谷村に就職以来三十三年間市職員として忠実に勤務、建設課長、税務課長を歴任地方自治振興に尽された。五十五年三月三十一日退職。(表彰状) 河野 浩一(七二) 島田 昭和四十二年四月から十三年間島田区長、この間上塩谷地区区長十年、栃尾市農業協同組合理事六年を歴任、市行政の伸展と地域の発展に貢献。また、多年、青少年の剣道指導に当たり青少年の健全育成に尽された。(感謝状) 中沢 庄兵衛(七〇) 赤谷 赤谷区長通算十二年、市議会議員七年四月、農業委員六年を歴任。市行政の伸展と地域の発展に尽された。(感謝状) 稲葉 勇(六五) 西野俣 昭和四十四年四月から引き続き十一年間の長きにわたり西野俣区長を歴任、地域の産業発展に尽された。(感謝状) 共栄建設備取役社長 本田 登栄 栃尾市立栃尾南小学校ステーション設置資金として百万円を寄付された。(感謝状) 伊藤 徳治(七九) 北海道 栃尾守神社太々神楽殿を文化財の伝承保存のため寄贈された。(感謝状)



郵政省が栃尾中へ「簡保の木」を寄贈

栃尾中学校は、さる十月二十二日、信越郵政局から「簡保の木」の寄贈を受けました。これは、郵政省が簡易保険の積立金を公共施設を建設する場合に融資し、完成を記念して贈っているものです。この日は、立花博治栃尾郵便局長が十本の、「どうだんツツチ」を生徒に手渡し早速、学校は校庭に植えました。この「簡保の木」は、過去に栃尾東小学校、下塩小学校が寄贈を受けています。 栃尾中学校は、昨年、簡易保険の還元融資を受けて、家庭科教室、技術教室などを増築しました。 このほかの施設では、栃尾東小学校体育館、上の原市営住宅、都市計画街路の栄橋建設などにも融資を受け、今でも五億三千六百四十四万円(五十五年三月末日現在)の融資を受けています。



繁窪地区は、今日まで三十二年間住宅火災が一件もない無火災地区です。この地区は、区民あげて防火運動を推進しているところ。

無火災に大きく貢献 繁窪地区 火の用心パトロール

32年間住宅火災ゼロ

特に、子供たちは毎晩、火の用心のパトロールを行っています。大人の依頼でもなく、小学校へ入学と同時に子供会に入り、冬期間は雪の多く



小林民宏君

パトロール中の子供たちに火の用心について聞いたところ、六年生の小林民宏君は「火の元には十分注意する」また、

防火クラブ設立しませんか

消防署がバックアップします

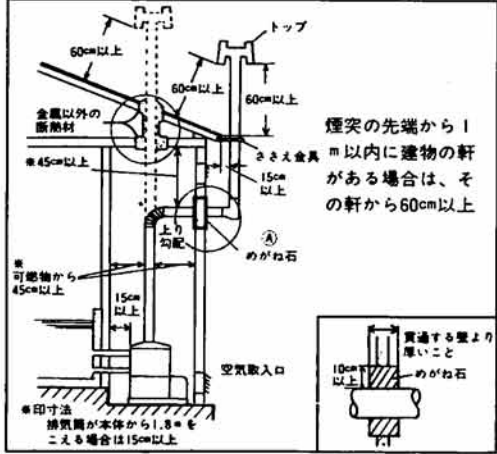
全国各地で少年少女消防クラブ、婦人防火クラブなどが続々設立されています。これは、火災パトロール、救急時の応急手当など消防の仕事について行動する組織です。栃尾消防署もこのような組



目黒光枝さん

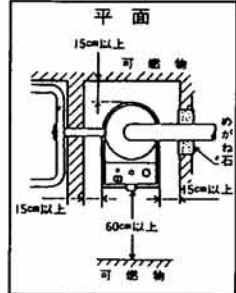
織を作るため、いま準備中です。市内各地の子供会、婦人会の協力をお願いします。消防署は、設立する希望がある団体については、大きくバックアップし、互に連携をとるように行きます。

煙突の取り付け図



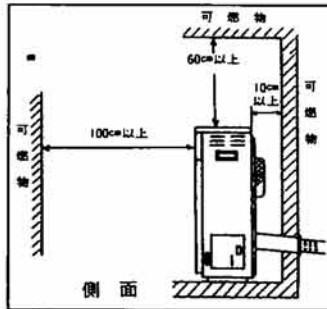
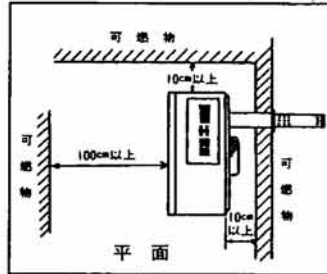
●家屋貫通部の注意
①排気筒が可燃性の壁などを貫通する場合は、必ずめがね石をはめてください。
②小屋裏、天井裏などの部分は、金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆をしてください。
③可燃性の壁、天井、小屋根、天井裏などを貫通する部分及びその付近では、排気筒の接続はしないでください。

石油ふろがま



A寸法は、基準では15cm以上と規定しているが、煙突と可燃物との離隔距離でも規制される。
※注：浴室内には設置しないこと。

強制給排気式石油ストーブ(FF式)



暖房器具はこまめに点検 秋季火災予防運動

11月26日～12月2日

火災、九月までに12件 一日12万円が灰に

寒さが厳しくなるにつれて各家庭では暖房器具を多く使うようになり、これに比例するかのようになり、火災も多発するようになっています。そこで、毎年このころに火災予防運動を実施しています。今年も、十一月二十六日から十二月二日まで全国一斉に秋の火災予防運動を行い、無火災で過ごせるよう予防検査などを行い協力を求めます。ことし一月から九月末まで発生した火災は十八件で、昨年の同期より三件多くなっています。損害額は三千四百万円にもなり、一日平均十二万四千円を灰にし、大切に築き上げた財産を一瞬のうちになくしたことになります。



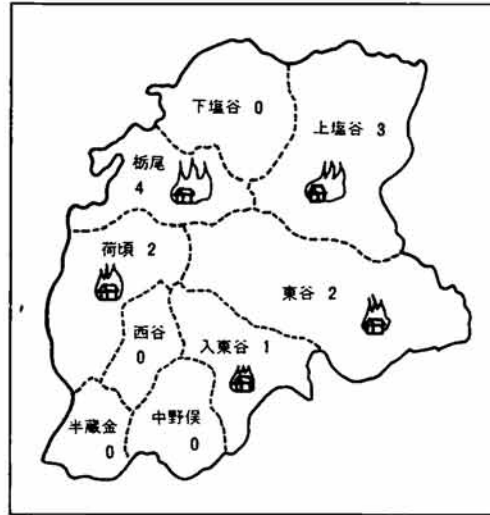
あなたです、火事を出すのも防ぐのも

悲惨な焼死の防止 火を出さない工夫

火災で一番恐ろしいのが焼死事故です。焼死事故は、火災発見の遅れと避難口が不完全な場合が多いのです。出火防止、焼死防止のため、次のことを十分注意していただきたいものです。

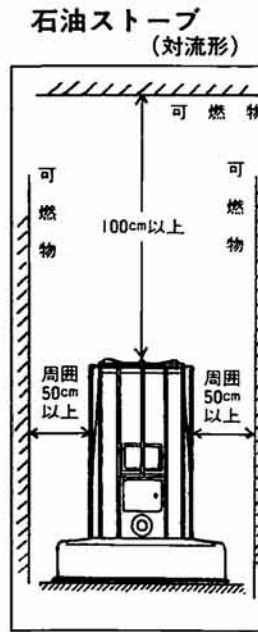
- 室内を燃えにくくする
木造の室内は、非常に燃えやすくなっています。このため、カーテン、寝具、じゅうたんなどは、防火処理をした製品を使用し、室内の不燃化に努めてもらいたいものです。
- 避難口の確保
老人、幼児の部屋や就寝場所は、一階の出入口に近い所をあて、万一のときは、すばやく避難できるようにしておきましょう。
- 簡易型火災警報器の設置
火災はいつ発生するかわかりません。みんなが眠っているとき、だれもいない部屋、こんなところから火災が発生したときに役だつのが簡易型火災警報器です。万一に備えて設置してみたいかがですか。これに非常ベルを加えて設置すれば、家族への周知が早くできます。
- やめたい寝たばこ
深夜火災の原因に、寝たばこがあります。この寝たばこは、少しがまんすることで、火災原因を排除することになります。飲酒時の寝たばこは特にやめたいものです。

地域別出火件数



暖房器具、風呂がま、こんろ 設置に離隔距離があります

液体燃料を使用する暖房器具、風呂がまなどを設置するときは、ほかの物と離さなければならぬ距離が栃尾市火災予防条例に決められています。また、設備や器具の点検、補修は、熟練者に行わせるようになっていす。器具を設置する場合の最低離隔距離は、次の表のとおりです。



種類	項目	距離(単位:センチメートル)	
		上方	側方
液体燃料	風呂がま	60	15
液体燃料	ドラク形	100	15
液体燃料	その他	100	15
液体燃料	ボイラ	60	15
液体燃料	強制給排気式	100	15
液体燃料	ボツ	60	15
液体燃料	強制給排気式	100	15
液体燃料	放射形	100	15
液体燃料	対流形	100	15
液体燃料	その他	100	15
液体燃料	強制給排気式	100	15
液体燃料	放射形	100	15
液体燃料	対流形	100	15
液体燃料	その他	100	15



ふうに思っている

安全な交通を考える座談会

免許取得の動機は年齢に達したから

司会 今年、市内で例年ない交通死亡事故が発生しました。しかも、その被害者が若い人でした。そこで若い人たちは、交通マナーについてどんな考えを持っているかお聞かせいただき、今後の交通安全の一助にするため、お集りいただきました。よろしくお願ひします。

みなさんは、バイクの免許を持っているようですが、どういう動機で取得しましたか。

佐藤 僕はあんまり好きでなかったけど、人が乗っ



星野良夫さん

星野 家の人ととれというし、正しく乗ればいいじゃないかというところでとりました。

佐藤 学校まで通学距離があり、自転車では時間がかかるといって、免許をとりました。

星野 家の人は、小さい免許より大きい免許をとれといいますが、学校では、五〇〇

気分のイライラ スピードで解消

司会 夏休み中にバイクで遠出しましたか。

大崎 友達は出なかったね。

司会 バイクは、身なりがきつくなってるね……

田伏 夏はバイクの方がいいなあ。自動車は信号待ちしていても、その脇を通って前に出て行けるし……

司会 スピードは守っていいですか。

佐藤 一人で走っていると、きつくなるけど、友達と走っているときは、友達と走っているときは、友達と走っているときは、友達と走っているときは……



佐藤金一さん

大崎 この気持ちを察してもらいたいね。

田伏 悪いことをするときにはやっぱり意識しています。わかっているつもりでやるとは、事故になるなあ。と思うときはセーブしますよ。だが、だれか一人がやればみんなついて来ると思うよ。

「暴走運転」集団が強い刺激になる

司会 一般に言われる暴走族をどう思いますか。

田伏 若い者として集団化すると、強気になってやっても

手紙コンクールで 文部大臣賞を受賞 林和賀子さん(栃中)



林さん

郵政省と財団法人日本郵便友の会協会が募集した「第三回手紙作文コンクール」で栃尾中学校二年の林和賀子さんが文部大臣奨励賞を受賞しました。

林さんの作品は、応募数万余の中から地方審査を通過し、中央審査で選ばれたものです。

「小さな親切」作文で 大橋一男君も

大橋一男君(栃尾中二年)も、社団法人「小さな親切」運動本部が行った作文コンクールで、応募数一万一千余編



大橋君

南中創立20周年 父兄が盛り上げる

南中学校(木山沢・荒井八郎校長・生徒数一三四人)は、さる十月二十三日、創立二十周年の式典を行いました。

同校は、昭和三十五年四月一日、入東谷、西谷、中野侯中学校を統合して開校したものです。

式典で、二十年間のうち功績のあった人に感謝状を贈ったり、地域父兄が余興を出し合っており、二十年をしのびつつ、これからの隆盛を語っていました。

高校生が語る車人格

ぼくらはこんな

よいという心理状態になっちゃうんじゃないですか。また取り締りの方がきびしくなるとそれに反抗したくなると思いますよ。捕まる人と捕まらない人がいるように、捕まるとは「このやろう」という気になり、取り締りも集団でくるから集団で反抗したい心理になるのでは……。人に見せたいという気もあるかなあ。



大崎孝行さん

大崎 捕った人は、運が悪かったなあと言っていますよ。佐藤 暴走族には、ふた手あると思う。一つは暴力団みたいなものとながっているもの。もう一つは、ただスピードを楽しんでいるもの。

車の紹介雑誌が スピードの刺激も

田伏 今、ひんぱんに出てくる車の雑誌は、スピードがどれくらい出るなどと書いてあり、いかにもスピードが出る



佐藤和弘さん

かのようにかきかたてている。だからそれを買って、ほんとうに出るか試してみたくなる。

大崎 そうして、友達のものが早いから、自分のものが早いか競争するようになる。

田伏 カーブなどで転んで、このスピードではこわくて走れないということもある。

佐藤 逆もあるよ。あのスピードで曲れなかったが、今度は絶対通ってやるといふこととで、スピードを出すこともある。

星野 乗っているときは夢中

大切な親のしつけ 本人も自覚が必要

司会 若い人は、むちゃな運



田伏司さん

あ……。

司会 大きな事故を起した人は、過去にも二、三回事故を起している人が多いが。

佐藤 飛ばすようになるのは、だいたい免許をとってから三年くらいたってからかなあ……。

大崎 守るんならみんなから



笹原

守ってもらわなければ、正直者はばかばかしいという人もあるよ。

佐藤 幼稚園、小学校くらい守るのが高校生以上になるとだんだん守らなくなる。高校生になると解放されたように思うからかなあ。

星野 行動範囲も広がるしね。

佐藤 横断歩道におばさんなどが交通指導に立っているのはいいね。今後、もっとぶやしては。おばさんと歩行者があいさつをかわしているのを見るとすがすがしく感じるね。

大崎 町内などで立つ人を輪番にするように決めては……。

佐藤 市内は、道路が狭いから運転者も自覚して運転することだと思おうよ。

司会 今日、たいへん意義ある話し合いをいただきありがとうございます。今後、交通安全対策にみなさんのよう



ダム周辺整備いよいよ始動

農林業資料館 道院遊歩道 来春に完成

県営刈谷田川ダムの完成によって、市は、このダムを含む守門、道院周辺の整備を進めることにしています。

その最初の事業として、農林業資料館の建設とダムサイドから道院までの遊歩道整備を進めています。さる十月六日、起工式を行い、来春三月完成をめざして工事を行っています。

資料館は、鉄筋コンクリート造り二階建、延べ二百八十八平方メートル、農家がまだ電化されないころの住まいを再現し、二階は民具、農具の展示場として農林業の歴史を知ってもらおうというもので、事業費は、三千六百万円。また、遊歩道は、全長二千



ダムサイドを目前に望めるところに資料館を建設。10月6日、起工式を行った。かつての建設資材置場として使われたところ。

ダムから道院を遊歩道化で一変

この一連の事業は、新農業構造改善事業（これまでの緑の村整備事業）で整備を進め

四百二十五メートルのうち千八百四十二メートルを幅員二メートルで来春三月までに整備します。事業費は千三百八十万円。

ダム周辺に作り堀、学童農園、道院には、池を中心にアスレチック、テニス、バレーボール、ソフトボールなどができる運動公園、キャンプ場、山菜農園など計画しています。事業費は、今のところ三億円と見込み、このうち約二億円は国と県の補助金です。施設の完成までは数年かかりそうです。

立派な学校ありがとう

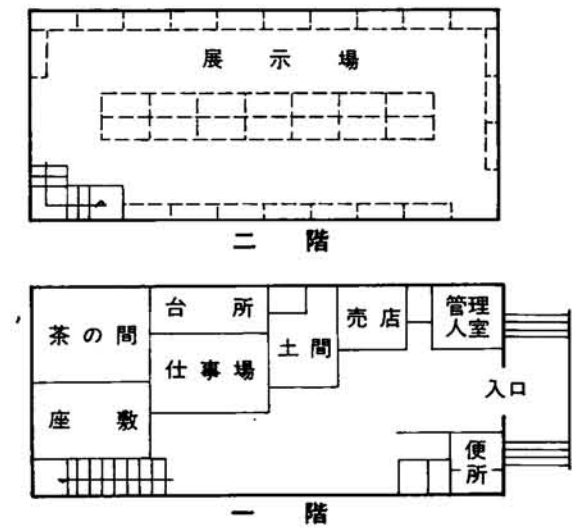
栃尾南小学校で竣工式



新しい校舎に移ってから五十日あまり、児童の授業もおちつきをみせたさる十月二十四日、栃尾南小学校の完成を祝って竣工式を行いました。

式典では、工事施工関係者に感謝状を贈った後、児童代表の多田信明君が「こんな立派な学校をありがとう」と感謝の言葉を述べました。

農林業資料館



とちおと人物(物語)

(126)

幕末・維新時の近代政治家

川上金十郎 ①

ある日のことである。初老の男と青年が、大川戸橋に佇んで下流を眺めていた。

眼下の刈谷田川は、泉、宮沢両村を深くえぐるように、大きく湾曲して流れていた。

初老の男は「いいか」とその下流を指さし、青年に静かに語りかけた。

暴れ川の異名をもつ刈谷田川は、ひとたび大雨が降ると直ちに、土俵を横上げた堤防を崩し、耕作地を流失させてしまうのである。

この川の改修は、流域に住む人々の多年の悲願なのだ。

もし、この改修工事がなされれば、度重なる洪水から脱するばかりか、荒廃した田を美田によりみがえらせることもできる。そして、旧河身を共有田にすれば、はかり知れない価値が生まれよう。

確かにその箇所は窪地の田となっており、自然と河身に変わる徴候が見えていた。しかし、幅二十数メートル、長さ約八百メートルもあるうか、これを全て人力で掘り進めなければならない。まるで



夢のような、そして気の遠くなるような壮大な事業であった。

時に明治十五年（一八八二）の事である。

（事実この工事は今日なすとしても、栃尾市の予算の五％から十％にもあたる三億五千万の予算が必要とされるといふ。明治の新政府が誕生して間もなき政局不安定なこの頃においては、こうした公共事業をなすという余裕をまだ持たあわせてはいなかった。

たとえば、栃尾町ののど仏にあたる百間土手について、その十年後でさえも総予算一七二九四余の内、土木費についてはわずかに五円しか計上できず、あの悲惨な大正の大被害を迎えなければならなかったくらいである。

こうした事を考えあわせる時、当時におけるこの計画がいかに時代を超えた大事業であったかが想像できよう。）

この壮大な企画をなし、実

行に移した人物が、泉村の川上金十郎（当時五十六才）であった。

彼は住民の訴えを聴取するや、県への斡旋にのり出し、粘り強く交渉した結果、ついに許可を得たのであった。そして両村民が一体となって、交替で工事に従事し、みごと同十九年（一八八六）に完成を見たのである。

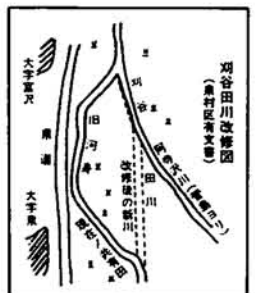
さらに旧河川一町余を開拓し、そこからあがる収益により、まず青年の教育を、と夜学校を建設したのをはじめ、消防組をつくる等、胸のすくような鮮やかな仕事をやってのけたのであった。

川上金十郎は、文政九年（一八二六）八月に泉村の割元、川上勘助の長男として生まれた。

同家は小向村庄家、川上家から泉村に家を分家し、代々同村の庄屋を勤めていたが、父の勘助の代に精勤により割元を仰せつけられていた。

しかし、金十郎が十四才の時、勘助は病にかかり、その翌年に他界してしまった。氏はそのため、わずか十六才で割元の重責を担う事となった。そのうえ、翌年には炭掛（係）に、ついで二十才になると、庄屋の監督である郷横目に任命されたのである。

時は幕末の風雲急を上げる



今までの圧制と貧困によって蓄積されてきた不満が一挙に爆発し、各地で一揆や打ち壊しが続発していた。しかも、こうした中で目覚めた農民はその不合理の追求を直接庄屋に向け、村々においても紛争が起こっていた。

金十郎はそれらの立合に入り、とりなしに多忙をきわめた。それでも取まりのつかない村には、平穩に戻るまで庄屋役の兼任もしなければならなかった。

慶応四年（一八六八）の戊辰戦争において長岡藩が敗れ、栃尾から去ると、新政府は割元制を廃止し、詰庄屋を設けて郷内の支配にあたらせた。更に明治三年（一八七〇）になると柏崎県ができ、知事の諮問機関として議事者が設けられた。

しかし、名前を変えたところで結局は、旧割元でしかも実力のあった者を起用しなければ収まりがつかなかったのである。

（つづく）

石田 哲弥 記

トビウツス



全国防犯運動がはじまった十月十一日、栃尾市防犯組合連合会（会長 渡辺芳夫市長）は街頭P・R。街を行きかう人にかけるときの施錠や自転車の施錠は完全にと呼びかけていました。

タイムカプセル 間もなく埋設

1,000年後に開けてくださいと、20世紀の政治、経済、文化などほとんどの資料を収納したタイムカプセル。この埋設場所が秋葉公園の一角と決まり、まもなくステンレス製のカプセルが埋設されます。



市民マス釣り大会 渡辺忠さんが優勝

栃尾釣同好会が毎年行う、第十回市民マス釣り大会が十月二十六日、刈谷田川で行われこの日の強風にもめげず、豆太公望も大奮闘。渡辺忠さんが五、五一〇グラム釣り上げてみごと優勝。



なごやかな運動会 市老連交流深める

栃尾市老人クラブ連合会（八木金吾会長）は、全市の老人クラブ員が集って交流する恒例の運動会を十月二十六日、栃尾東小学校で行い、アベックレースや玉入れ、フォークダンスなどで一日を過ごしました。



トビウツス

おしらせ版

1980
11.10

発行 新潟県栃尾市長 編集 栃尾市総務課 (02585) 2-2151

予 防 接 種

会場▶市民会館
時間▶午後1時30分～午後2時
(麻しんは午後1時30分までに集合)

種 類	月 日	対象者生年月日
三種混合2期	11月26日(木)	52.4.1～52.8.31
麻 し ん	12月4日(木)	53.10.1～54.3.31
	12月5日(金)	
三種混合もれ	12月17日(木)	1期2期もれの人

※母子手帳を忘れずに持参してください。
問診票は必ず記入してください。

狩猟解禁 11月15日
銃の保管・取扱は慎重に

収集を中止する地域

栃尾地区	土ヶ谷・栃倉・大倉
下塩谷地区	陶山・上檜出・文納・山谷 明戸・鶴ヶ島・水沢
上塩谷地区	大野原を除く全地域
東谷地区	菅畑
荷頃地区	軽井沢・比礼・本津川
入東谷地区	全地域
西谷地区	木山沢・森上
中野俣地区	全地域
半蔵金地区	全地域

▼ゴミ収集を中止する地域は、表の収集日により飛除雪により飛

降雪時

ゴミ収集を変更

収集地区と方法

例年のとおり降雪と同時にゴミの収集地域と方法を変更します。
収集地域であっても降雪状況によっては、計画どおり収集できない場合や遅れることがあります。川に捨てたり持ち出したゴミが飛散しないよう、次の注意事項を守ってください。

今年の危険物収集最終日

11月21日(金)	下檜出・山口・熊袋・岩野 檜原・平中野俣・九川・塩中 梅野俣・塩新町・天平・沖布 大川戸・菅畑・赤谷・北荷頃 本津川
11月25日(火)	新町・大町・小貫・土ヶ谷 金沢・原町・平・東が丘 天下島
11月26日(水)	新栄町・栄町・山田町・滝 の下町・旭町・東町・本町
11月27日(木)	表町・大野町・谷内・上の 原町・仲子町・金町・巻淵
11月28日(金)	吉水・上檜出・山屋・明戸 鶴ヶ島・水沢・宮沢・泉・ 一之貝・軽井沢・比礼

危険物収集は、表の収集日限りで休止します。
今ある危険物は、表の収集最終日の午前中に収集場所に持ち出してください。
収集中止中の危険物は、各家庭で保管しておき、来春持ち出してください。

危険物の収集は休止

十二月から来春まで

危険物埋立地(比礼地内)が山間部のため、降雪を前に危険物の収集は、表の収集日限りで休止します。
産業廃棄物も搬入は休止とします。

収集車の通れる場所へ持ち出していただく地域

栃尾地区	新町(馬市小路) 大町(裏通) 大野町(本村・川東) 谷内1丁目(裏通) 滝の下町・旭町・仲子町・東町・本町(裏通) 金沢・原町・巻淵(裏通) 平・東が丘・天下島
下塩谷地区	二日町人面・岩野・檜原
東谷地区	大川戸(村中) 赤谷・小向 栃堀
荷頃地区	北荷頃・一之貝
西谷地区	田之口・西野俣・中

上記地域以外は変更ありません。

散し、周囲を汚すことになりま。決められた時間以外は出さないでください。
▼収集日が祝祭日と重なった場合は、次の収集日まで出さないでください。

年末資金の手当はお早めに 国民金融公庫

国民金融公庫では、年末資金を次により取り扱います。
◎融資は 千五百万円まで、(特定設備資金貸付は二百二十万円以内)すでに利用している方でも、この範囲内であれば重複して利用できます。
◎返済は 運転資金五年以内、設備資金七年以内(特定設備貸付は十年以内)
なお、資金使途によって短期の支払を希望する場合は、短期の取り扱いはできません。例年、年末になると申し込みが増え、窓口が混雑しますので、早めに(できれば十一月末)相談ください。
融資についての詳細、申し込み手続などは、商工会または国民金融公庫長岡支店(☎0258(3)4360)までお気軽にご相談ください。

参加者募集 戊辰戦争・戦跡探訪

戊辰戦争の戦跡は栃尾にも数多くありますが、主戦場であった長岡、開戦の小千谷にも数多く残されています。公民館では、この小千谷、長岡の戦跡探訪参加者を募集しています。
期日 十一月二十一日(金)
募集人員 十五人(定員になり次第しめ切ります)
申込 市公民館
参加費 無料
もち物 昼食

ご存知ですか 国の進学資金貸付

来春、高校・大学などに進学するお子さんをお持ちの方に、手軽に利用できる国の進学資金貸付をおすすめします。融資額◇一世帯五十万円以内、利用できる人◇高校、専門学校、大学などに進学するための資金を必要とする世帯。資金の使いみち◇入学金、授業料、施設設備費など。受験料、受験のための交通費や宿泊費など。その他進学のための必要な教科書、参考書代、教材費、下宿敷金など。
相談窓口◇銀行、信用金庫、農協、労働金庫、国民金融公庫長岡支店のほか、郵便局に進学積立金をしている方は郵便局。

どうぞおい出ください 菊づくり講習会

秋を代表する美しい花。それは菊です。この菊をあなたも作ってみませんか。この菊づくりの講習会を次のように開きますので、どうぞ参加ください。
期日 十一月十六日(日)午前10時から正午
会場 公民館
講師 弥産神社菊花展審査員 土田秀二(ほかに市菊花愛好会の会員が指導)
定員 四十名
申込 準備のため公民館に事前に申し込んでください。
持物 筆記用具

簡易保険巡回診療

長野・燕の簡易保険診療所では、簡易保険に加入している方々の健康増進を図るため巡回診療を、次の郵便局の区内で行います。
診療内容は、一般診療・健康診断・投薬・レントゲン撮影・健康相談などで、料金は特定の場合を除き無料です。
なお詳細は各郵便局の簡易保険担当係へどうぞ。
十一月十八日▼西谷局(西谷生活改善センター)十一月十九日▼東谷局(泉区公民館)十一月二十日▼二日町局(二日町区公民館)

ご存知ですか……。
昭和五十六年三月三十一日まで自分が住むために購入した、床面積一六五平方メートル以下(木造家屋、一六五平方メートル以下、三〇平方メートル以上)の新築住宅で、新築後一年以上以内に移動登記を行うときは、登録免許税の税率が五パーセントから〇・二パーセントに減額される特例があります。
また、十年以内に新築された中古住宅を自分が住むために購入した場合、五パーセントの税率を三パーセントに減額する特例があります。
特例をうけるには、新築住宅、中古住宅ともいろいろな条件がありますので、くわしいことはお気軽に税務署・税務相談室(☎0258(3)5252)へおたずねください。

住宅の登記と税金

年賀状コンクール作品募集

信越郵政局では、第三十回全日本年賀状版画コンクールの作品を、次のとおり募集します。
応募資格 一般の部(大学生を含む)中・高等学校の部 小学校児童の部(幼稚園児を含む)の三部門。
作品 ①年賀状として創作されたもので未発表のもの。②用紙は官製はがき。③版式は自由。④作品の裏面に郵便番号、住所(中・高等学校の部及び小学校児童の部は学校名、所在地、郵便番号、学年を記入)氏名、性別、年齢を記入し、学校名と氏名にふりがなをしてください。
作品の提出先 各集配受持局 締切り 十一月二十五日(火) 賞 中央審査会の結果、優秀作品には、賞が贈られます。

ご覧ください 市展

11月15日～17日
午前9時から午後7時まで
(最終日は午後6時まで)
会場 栃尾市市民会館
部門 日本画・洋画・書道・写真

今月の税金

- ▷ 固定資産税
 - ▷ 国民健康保険税
 - ▷ 国民年金保険料
- 納期 12月1日

年賀状の差し出し準備を十二月十五日受付開始

行政・納税相談

9月の交通事故 2件(前年同月7件) 死者 0人 傷者 2人

とちお おしらせ版

1980 11.25

発行 新潟県栃尾市長 編集 栃尾市総務課 (02585) 2-2151

国民年金の支給額が改定されました

このたび、国民年金法の一部が改正され、みなさんに支給される年金額が下表のとおり改定されました。

改善された国民年金の月額 (単位:円)

給付の種類		現行額	改正額
拠出年金	老齢年金	5年加入 20,108 10年加入 24,741 25年加入 39,225 40年加入 62,766	22,600 26,550 42,000 67,200
	障害年金	1級 49,791 2級 39,833	52,250 41,800
	母子・準母子年金	子が1人のとき 39,833 母子加算の創設 -	41,800 15,000
	遺児年金	1人のとき 39,833	41,800
福祉年金	老齢福祉	明治44年4月1日以前の出生者 20,000	22,500
	障害福祉	1級 30,000 2級 20,000	33,800 22,500
	母子・準母子福祉	子が1人のとき 26,000	29,300

※1. 改正後の5年年金は7月から21,600円で、8月から22,600円になります。 2. 母子加算の創設は8月からです。

人権週間 12月4日～10日

あなたもわたしも守ろう人権

今年も人権週間が始まります。この「人権週間」は、一九四八年十二月十日に国連総会において、世界人権宣言が採択されたのを記念して、この日を「人権デー」と定め、世界各国が人権を尊重擁護することを誓ったものです。わが国でも十二月四日から十日までを「人権週間」として、広く基本的な人権の思想普及と、人権意識の高揚を呼びかけているものです。

この期間には、各人権擁護機関で啓発活動を行っており、私たちに身近な人権擁護機関として、人権擁護委員制度があります。人権擁護委員は市町村長から推せんされ、法務大臣が委嘱し、全国の市町村にあって常に法務局の係員とともに、人権擁護のため活躍しています。

秋の全国火災予防運動

- 12月のテレビ防災キャンペーン BSN ご存知ですか
防災ミニ百科
金曜午前10:25～10:30
5日 火災の被害
12日 119番の正しいかけ方
19日 奥さまは防災博士
26日 激増する放火
- NST そのときあなたは
—くらしの中の防災—
日曜午前7:25～7:30
7日 火災の恐怖(白書は語る)
14日 火災と出火防止
21日 火災と通報
28日 火災と初期消火

献血

とき 12月4日(木)・11日(木)
午前10時～午後3時
ところ 市役所市民ホール
助けあう心一つで献血を

農業大学校学生募集 明日の農業は若さに技術

新潟県農業大学校では、次により学生を募集しています。

募集人員 農産科二十五人、園芸科二十人、畜産科十五人

修業年限 二年

出願資格 高等学校卒業(来年三月卒業見込みを含む)で、大学卒業後農業に従事する見込みのある者

推薦入学校 農業高校を卒業見込みのもので、農業従事の意志の強い者は推薦入学することできます

願書受付 ①推せん入学は十二月六日(日)まで ②一般入学は来年一月十日(日)から一月三十一日(日)まで

入学試験 日(日)まで

入校試験 ①推せん入学は十二月十六日(火) ②作文・面接 ③一般入学は二月十三日(金) ④作文・現代国語・政治経済・数学 Iか生物 I・面接

学費 学費は年額およそ四十万円ほどですが、二十万円まで無利子で貸付けられる研修教育資金制度が利用できます。

その他 大学校は全寮制で、在学中に農業機械士など教師の免許資格取得の機会が与えられます。

※詳細は、長岡農業改良普及所 栃尾支所 (025) 274-1111 にお問い合わせください。

受付は12月15日まで 保育所入所見募集

面接は1月6日から

●来年四月から、保育所に児童の入所を希望されるかたは、十二月十五日(月)までに所定の申請書を、入所希望保育所へ提出してください。申請書用紙は市福祉事務所と各保育所(園)にあります。

●なお、今年度は面接と入所申請期限が別ですので、申請は十二月十五日までに各保育所へ忘れずに提出してください。

区分	保育所名	所在地	定員	面接の月日
市立	中央保育所	山田町	150	1月6日(火)
	白山保育所	天下島	120	"
	東が丘保育所	東が丘	90	1月7日(水)
	大野保育所	大野町	90	"
私立	芳香稚草園	大町	120	1月8日(木)
	善昌寺保育園	原町	120	"
	双葉保育園	谷内	120	1月9日(金)
	東谷保育園	泉	60	1月12日(月)
	明星保育所	栃堀	60	"
	曹源寺保育園	北荷頃	60	1月9日(金)
	みどり保育園	下樺出	90	1月13日(火)
	上塩保育園	上塩	60	"
杉沢保育園	見附市杉沢町	60	面接なし	

作業停電

平のほほ全域と東が丘▽12月2日(火)午前9時～午後1時
本所・入塩川(塩川小は除く)▽12月5日(金)午前9時～午後1時
沖布・天平・塩新町・平中野 保▽12月8日(月)午前9時～午後3時
上米伝の一部と松尾・栗山沢▽12月11日(木)午前9時～午後1時

金沢の一部(山手)▽12月16日(火)午前9時～午後1時
二日町の一部▽12月19日(金)午前9時～正午
※停電区域などくわしいことは、電柱番号を確かめたいこと、(02)3017へどうぞ。

お札

去る9月、栃尾中学校二年生のかたがたから、守門の里へ千四百二十一円の寄付をいただきました。これは守門の里のバミリ映画で感動し、何かの役に立てばと、自主的に集めたお金だそうです。誠にありがとうございます。また、10月24日の余町での街頭募金には、皆様方の温かいご厚意により十万八千三百五十円のお札をいただきました。あわせてお札申し上げます。

乳幼児検診

会場▶市役所別館
時間▶午後1時までに集合
6か月児検診▶茶わん・スプーン・筆記用具を持参してください。
3歳児検診▶尿検査を実施します。
※必ず母子手帳を持参してください。

検診名	月日	対象者
3か月児検診	12月9日(火)	55年9月生まれ
6か月児検診	12月12日(金)	55年7月生まれ
1歳半児検診	12月11日(木)	54年6月生まれ
3歳児検診	12月10日(水)	52年7月生まれ
乳幼児相談	12月22日(月)	乳幼児

予防接種

会場▶市民会館
時間▶午後1時30分～午後2時
(麻疹は午後1時30分までに集合)

種類	月日	対象者生年月日
麻疹	12月4日(木)	53.10.1～54.3.31
	12月5日(金)	
三種混合	12月17日(水)	1期2期もれの人

※母子手帳を忘れずに持参してください。問診票は必ず記入してください。

福祉手当受給者の皆さんへ

今まで8,000円だった手当額が、昭和55年8月分から月9,250円に引き上げられました。